



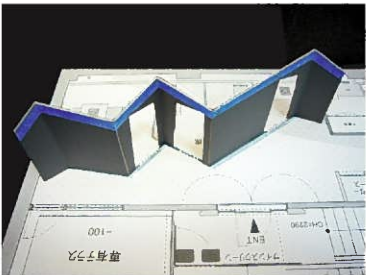
## ARCHITECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その44

前回に続いて高松伸の作品で、岐阜県可児市にある寺院「西福寺」です。1982年の完成で、竣工から38年になりますが、当時の高松氏には抑え気味のデザインであり、地域の寺として、この町に馴染んでいます。本堂内部は、基本的に「和」の意匠を設えつつ、随所で高松式メカニカルディテールが炸裂してはいますが、不思議に寺院空間になじんでいます。

## CURRENTLY WORKS



### インテリア模型 — デザイン検証のためのモデル作り

デザインを進める際に、模型を作ることが多々あります。特に、当社は斜めラインや、曲線壁を多用するため、クライアントへの説明用としてプレゼンテーションに利用することもあります。ですが、これは、それ以前の段階で、自分たちの確認用として製作した簡単な模型です。部分だけを作ることで、アイレベルでの見え方や、バランスを検証しました。

## PRIVATE TOPICS



### 太田のアート探訪記 その12

岐阜県の養老公園にある「養老天命反転地」です。名古屋市瑞穂区出身の現代美術家「荒川修作+マドリン・ギンズ」により構想された体験型アート作品で、県の依頼で、1995年に完成しました。後に「オフィス」が追加依頼されましたが、完成すると、必要機能をアートの的に消化した空間で、実際の使用には能わず、「記念館」という「作品」となりました。

## EDITIONAL NOTE

3月の14日は「ホワイトデー」ですが、いつから定着したのでしょうか？…皆様のご洞察の通り製菓メーカーの企みだったようで、正確な「元祖」は特定できていませんが、最有力な説によると1973年に「不二家」が別の製菓メーカーと組み、14日をホワイトデーと決めて商戦を開始しました。

編集担当：太田・藤原